

## 第 20 回島根県臨床検査技師会精度管理調査報告書よせて

島根県臨床検査技師会の皆様、第 20 回精度管理調査へご参加いただき、有難うございました。今回も検査の全領域における精度管理調査が行われております。結果を俯瞰してみますと、概ね良好な結果が得られているようです。精度管理が難しい生理、微生物、病理などについても大変努力されており、教育的配慮もなされているように思われます。本調査は、島根県の検査精度管理の実態把握とともに、技量を磨く良い機会になっていると考えられます。皆様におかれましては、本報告書をご活用いただけますと幸いです。

いつでも、どこでも同じ結果が得られるようにすることは非常に重要ですが、そのためには並みならぬ努力を要します。そもそも検査技師個人々の努力だけでは解決しない問題もあります。施設間差、機器間差、試薬間差など、検査に伴う誤差は必ずあるわけです。しかし、だからこそ、各医療機関の検査精度を担保するために外部精度管理や内部精度管理を継続する必要があると言えます。今後も多くの医療機関にご参加いただき、本調査がさらに充実することを期待しております。

島根大学病院検査部では、検査の国際認証である ISO15189 を取得し 2 年が経過しました。精度管理に追われるのではなく、通常業務として組込まなければ継続することは難しいと感じている次第です。各人がこれまでの認識から脱却し、「精度管理は検査の一環」という認識をもつ必要があると考えます。島根県全体の検査精度を担保していくため、今後も皆様のご協力をお願い致します。

臨床検査精度管理委員

島根大学医学部附属病院検査部

矢野 彰三